

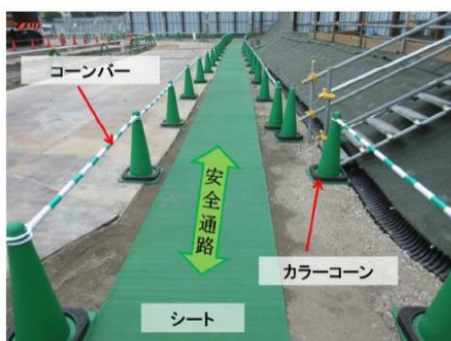
建設業「見える化」の推進



Visualization of risk for **Safewor** KANAGAWA

「見える化」とは職場にひそむ危険などを目に見える形にして、効果的に災害防止を推進する取組です。「見える化」することにより、労働者の安全意識が高まり、安全活動の活性化の効果が期待できます。

安全通路の見える化 (作業通路と車両通行帯の区分)



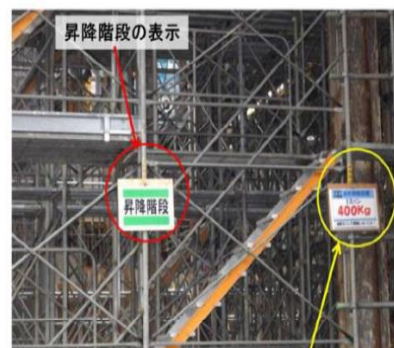
土工事において、安全通路を緑のシートと緑のカラーコーン、緑と白のストライプのコーンバーで緑色を基調に色を統一し、現場内の安全通路と車両通行帯を明確に区分し、安全通路を確保している。

作業内容の見える化



高所作業車を使って火気作業(溶接作業中)であることを、周囲から見える高い位置に垂れ幕で表示し、現場内にいる作業者に注意喚起している。

昇降階段の見える化 最大積載荷重の見える化



昇降階段の側面をオレンジ色に塗装し、昇降階段の位置が側面から分かるようにしている。
また、足場作業床の「最大積載荷重 1スパン 400kg」の表示(法定事項)を色分けで分かりやすくしている。

熱中症危険レベルの見える化

現在のWBGT値	
現在の気温 30°C	現在のWBGT値 31°C
熱中症危険度	WBGT値
● 危険	31°C 以上
○ 嚴重警戒	28~31°C
○ 警戒	25~28°C
○ 注意	25°C 未満

朝礼・ミーティング場所の掲示板で、WBGT値を作業者に周知している。数時間ごとに数値を置き換え、また、危険、嚴重警戒、警戒、注意の4段階の危険レベルも併せて更新し表示。

開口部の見える化・酸素欠乏危険場所の見える化



地下ピットのふたに「酸素欠乏場所」であり、許可なくピット内に立ち入ることを禁止することを明示している。

階段段差の見える化 (階段からの墜落・転落災害防止)



階段踏み面の外側(段差側)角(段鼻)に沿って破線状に赤色のテープを貼り、段差を作業者に分かりやすくしている。